

令和4年度(一財)松本市スポーツ協会事業報告

令和4年度の事業計画では、「長引く新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応しつつ、市民スポーツの振興と市民の体力向上・健康維持増進を図り、生涯にわたる健康で明るく豊かな市民生活の形成と、活力ある社会の実現に寄与するために、加盟団体をはじめ関係団体との連携を密にし、競技力の向上、市民の健康維持増進、青少年の健全な育成等に努め、競技スポーツと生涯スポーツの普及・振興を図ります。また、組織運営にあたりスポーツ庁が示す、「スポーツ団体ガバナンスコード〈一般スポーツ団体向け〉」の原則に沿った組織運営に取り組みます。」としていました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大は、デルタ型から変異したオミクロン型ウイルスに影響を受け、事業の多くを中止にせざるを得ず、昨年引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止が最優先課題となりました。これに対応するために長野県、松本市、スポーツ庁、日本スポーツ協会、長野県スポーツ協会、各中央競技団体の定めるガイドライン等に加え、スポーツ少年団を要する当協会として文部科学省、長野県教育委員会、松本市教育委員会、長野県スポーツ少年団の定めるガイドライン等も遵守し、市民スポーツ大会事業、教室事業、指導者育成事業をはじめ各種会議等について、関係する加盟団体、役員、施設管理者等と1件1件検討を行い、その実施可否の判断をするとともに、実施する場合の対応を協議し、万全の対策をとった上で、制約のある中、最大限計画に近づくように実施してきました。

幸い、オミクロン株の感染力は強いものの、これまでに比べ重症化しにくい傾向があり、国・県等の対応基準に従い、市民スポーツ大会地区対抗競技会及び市長杯争奪球技大会をはじめ、教室及び委員会事業を徐々に復活することができました。

このような中、昨年開催された2020東京オリンピック・パラリンピックによりスポーツへの関心の高まりの中、市民のパラスポーツへの理解や関心、認知度を更に高めるために、障がいのある方もそうでない方も一緒にスポーツを通しての触れあいを増やし、競技及びレクリエーション活動への参加意欲を高めることを目的に障害者スポーツ委員会の名称をパラスポーツ委員会と名称変更し、本年度は今後のあり方及び令和5年度以降に向けた事業計画について検討を進めることとしました。

また、設立して3年目となる中信4市スポーツ協会・体育協会協議会も、相互の連携を密にし、情報交換を図るとともに、中信地域における体育・スポーツ・レクリエーション等の振興を推進する基盤を整備するために、長野県知事及び長野県教育長への要望議案を議決し、長野県・長野県教育委員会・長野県スポーツ協会への要望を12月27日に行うとともに、1月下旬には中信4市の市長にその報告と支援の要望活動を実施しました。

I 栄典 長野県スポーツ協会 長野県スポーツ少年団顕彰

〈指導者表彰〉 令和4年4月20日 受賞

加藤善治（サッカー） 朝倉秀幸（バレーボール）

青木智美（なぎなた）

II 組織等

1 加盟団体

合計	競技	武道	レクリエーション	地区
81団体	30団体	12団体	4団体	35団体

2 賛助会員・功勞会員

合計	個人	企業	加盟団体	功勞会員
スポーツ協会 48件	31名	1社	16団体	99名
スポーツ少年団 0件	コロナによる事業中止に伴い募集せず			

3 役員・職員

評議員	理事	監事	職員数
23名	19名	3名	5名

*代表理事：会長1 *業務執行理事：副会長5、専務理事1(事務局長兼務)

4 主要会議等

4月25日(月) 決算監査(令和3年度分)

5月18日(水) 第1回理事会/令和3年度一般財団法人松本市スポーツ協会事業報告、令和3年度一般財団法人松本市スポーツ協会収支決算、令和4年度一般財団法人松本市スポーツ協会定時評議員会の招集、一般財団法人松本市スポーツ協会委員会規則の改正、同松本市スポーツ少年団本部長及び副本部長の推挙、令和4・5年度松本市スポーツ協会役員等の改選、休日部活動の地域移行プロジェクトチーム委員の推薦

6月15日(水) 定時評議員会/令和3年度一般財団法人松本市スポーツ協会事業報告、令和3年度一般財団法人松本市スポーツ協会収支決算、一般財団法人松本市スポーツ協会評議員の選任、同理事の選任、同監事の選任、令和4年度一般財団法人松本市スポーツ協会事業計画、令和4年度一般財団法人松本市スポーツ協会収支予算、松本市スポーツ少年団本部長及び副本部長の推挙、市民体育大会の名称を市民スポーツ大会に変更した事、委員会の名称変更、スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係る自己説明及び公表の対応、休日部活動プロジェクトチーム委員の推薦

6月15日(水) 第2回理事会/一般財団法人松本市スポーツ協会会長(代表理事)及び副会長、専務理事(業務執行理事)の選定、一般財団法人松本市スポーツ協会部会長・副部会長の承認、一般財団法人松本市スポーツ協会委員長、副委員長、委員の承認

11月7日(月) 第3回理事会/令和4年度一般財団法人松本市スポーツ協会表彰候補者の審査、スポーツ協会事業の実施・進捗状況、会長及び業務執行理事(副会長・専務理事)の職務執行状況

3月23日(木) 第4回理事会/令和5年度一般財団法人松本市スポーツ協会事業計画、令和5年度一般財団法人松本市スポーツ協会収支予算、スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係る自己説明及び公表内容の変更について、広報紙「スポーツまつもと」の発行について、中学校運動部活動の地域移行への対応について、事務所の移転について、令和5年度松本市スポーツ協会主要事業日程

Ⅲ 事務事業の実施状況

1 重点事業と重点施策

(1) 事業運営の強化と健全な財政運営

ア 自主財源確保の取組み強化

(ア) 市総合体育館指定管理業務をミズノ・松本市スポーツ協会グループが継続して指定を受け、同グループから駐車場及び外構管理業務に係る分担金収入を確保しました。

(イ) 賛助会員及び功労会員への加入呼びかけを行い、例年並みの収入を見込みました。

イ 各種事業内容の見直し等による経費節減と業務の効率的運営

(ア) 功労会員会費5年以上未納者を退会とする内規に基づき、通知事務・通信費の削減に引き続き取り組みました。

(イ) 大会及び教室で使用する新型コロナウイルス感染拡大防止グッズを一括購入一括管理とし、引き続き経費を抑制しました。

(ウ) コピー用紙の裏紙利用、コピー機カウント削減のためのA3版二つ折り編綴、表彰状・大会プログラム・大会看板・会議資料等の事務局内印刷、スポーツ少年団表彰状筒廃止等、引き続き経費の縮減に努めました。

(エ) スポーツ教室の広報や受付事務等を当協会が行うことで加盟団体の事業コストの削減及び事務の効率化を図り、その対価を当協会の財源確保につなげるため、加盟団体に事業・決算報告書の提出を依頼し、加盟団体の収支及び事業の適正化を図りました。

(2) 生涯スポーツ振興への取組み強化

市民が生涯にわたりスポーツに親しみながら健康の維持増進を図るため、当協会公認指導者が中心となって、スポーツ実施の機会を確保しました。

ア 計8日に延べ26名の指導者派遣をしました。

(ア) 信明中学校コミュニティースクール地域出前講座（3回、7名、延18名）

(イ) 松本市シニア健康教室（4回、6名）

(ウ) 開明小学校・信明中学校2校特別支援学級交流会（1回、2名）

イ 地域におけるスポーツ指導依頼に柔軟に答えられる体制としました。

(3) スポーツ振興の推進

加盟団体の組織維持・強化及び指導者育成を促すために、令和2年度にスポーツ振興事業費交付規程を改正しました。このことにより、加盟団体が主体的に事業を実施し易くするとともに、市民が親しみたいスポーツに気軽に参加し続けることができる環境を維持して行くための基盤が整いつつあります。

(4) スポーツ少年団活動の支援

スポーツを通して青少年の健全育成を図るとともに、社会のルールや思いやりの心を学ぶスポーツ少年団活動を支援しました。

(5) 中信4市スポーツ協会・体育協会協議会の運営

中信4市のスポーツ協会・体育協会相互の連携を密にし、情報交換を図るとともに、中信地域における体育・スポーツ・レクリエーション等を推進するため、一般財団法人松本市スポーツ協会、大町市体育協会、特定非営利活動法人塩尻市体育協会、特定非営利活動法人安曇野市スポーツ協会により、新たな組織を立ち上げての3年目の事業に取り組みました。

- 令和4年 7月15日(金)16:00 正副会長会議 松本市中央公民館
 - 議案第1号 令和4年度中信4市スポーツ協会・体育協会協議会 役員の決定
 - 議案第2号 令和3年度中信4市スポーツ協会・体育協会協議会 事業報告
 - 議案第3号 令和4年度中信4市スポーツ協会・体育協会協議会 事業計画
 - 議案第4号 2028ながの国民スポーツ大会に向けて、国スポ種目のスポーツ施設の充実について（継続）
 - 議案第5号 第82回国民スポーツ大会開催に合わせた競技会場及び周辺環境の整備等に対する財政支援について（新規）
 - 議案第6号 中学校の運動部活動の地域移行における長野県と市町村との協働について（新規）
 - 議案第7号 中学校の運動部活動の地域移行における指導者情報の共有について（新規）

- 令和4年 7月15日(金)14:30 情報交換会 松本市中央公民館
 - 提出議題 N0, 1 「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」の対応について
【塩尻市体育協会提出】
 - 提出議題 N0, 2 会報誌の発行について【塩尻市体育協会提出】
 - 提出議題 N0, 3 中学校の運動部活動の地域移行への対応について
【松本市スポーツ協会提出】

- 令和4年12月27日 長野県知事・長野県教育長への要望
長野県スポーツ協会会長への要望

- 令和5年1月26・27日松本市長・大町市長・塩尻市長・安曇野市長への要望
- (6) 中学校運動部活の地域移行への対応

文部科学省は、令和5年度からの「休日の部活動の段階的な地域移行」を進めることとし、これに対応するために松本市教育委員会が設置した、「部活動の地域移行関係者準備連絡会議」（以下「準備連絡会議」という。）に参画するとともに、松本市が進める移行のための政策策定に対し、当協会としての役割（定款第3条目的）を果たすため、次の事業を行いました。

ア 当協会加盟団体を中心とした中学校運動部活動に関わる団体及び学校関係者並びに市民等に対する調査事業

(ア) 調査の目的 地域移行の課題について、学校関係者、保護者、スポーツ団体関係者、地域団体関係者等、多様な関係者の認識を明らかにすることを目的としました。

(イ) 調査時期 令和4年4月21日～5月25日

(ウ) 調査方法 半構造化インタビュー 調査対象 それぞれの団体において運営の中枢を担っている者17名

①中学校関係者（学校長・顧問各2名）、②保護者団体（会長1名）、③スポーツ団体（スポーツ推進委員協議会会長・同協議会地域連携研究委員長各1名・生涯スポーツ指導者連絡協議会代表幹事1名、5競技団体（副会長1名・理事長2名・普及指導委員長1名・総合型地域スポーツクラブ役員1名）、④地域団体（地区スポーツ団体・公民館各1名）

(エ) 分析・考察 調査結果の内、休日移行についてのインタビューに対する回答を分析・考察し、「中学校運動部活動の地域移行の課題に関する学校および地域関係者の認識～子どもを主語とした円滑な移行のための条件に関する考察～」と題してまとめ、その概要を当協会第4回理事会に報告しました。

なお、本調査は、日本体育大学大学院スポーツ社会学研究室の指導を受けて行いました。

イ 当協会加盟団体に対する中学校運動部活動に関わる情報提供を基にした学習事業を次のとおり行いました。

(ア) 国の政策概要とインタビュー回答内容等を示しての学習

- ・「休日部活動の地域移行プロジェクトチーム会議」（以下「プロジェクト会議」という）（令和4年5月30日）
- ・「松本市教育委員会及び松本市文化観光部担当職員等との懇談会」（令和4年10月26日）
- ・「準備連絡会議」（令和4年11月4日）

(イ) 研究概要を発表しての学習

- ・「長野体育学会第58回大会シンポジウム」（令和5年3月4日）
- ・「プロジェクト会議」（令和5年3月20日）
- ・当協会令和4年度第4回理事会（令和5年3月23日）

ウ 地域移行する部活動種目を担うことが期待される加盟団体と松本市との連絡調整等を次のとおり行いました。【新規】

(ア) 「プロジェクト会議」の委員（現在市内中学校で実施されている運動部活動の種目それぞれをしないで統括している9競技団体からの推薦）のとりまとめとスポーツ推進課への報告（令和4年4月）

(イ) 「プロジェクト会議」メンバーとの個別調整（随時）

エ 全面移行に向けた地域の受け皿づくりについての調査及研究事業

上記、アの調査において、全面移行（先行する休日移行に平日移行を加えたもの）に関するインタビューを行いました。（分析・考察等は令和5年度）

(7) スポーツ団体ガバナンスコードに沿った取組み

基本方針に示すスポーツ庁の定める「スポーツ団体ガバナンスコード〈一般スポーツ団体向け〉」の原則（①法令等に基づく適切な団体運営及び事業運営、②組織運営に関する目指すべき基本方針の策定と公表、③暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底、④公正かつ適切な会計処理、⑤法令に基づく情報開示・組織運営に係る情報の積極的開示による組織運営の透明性の確保）等に基づき、ガバナンスコードの遵守状況について自己説明及び公表を実施しました。

2 一般事業

(1) 自主事業等

ア 功労会員の会（会員数：99名）

- ・総会 令和5年2月27日（月）[書面会議]

イ 松本市スポーツ協会表彰式典

- ・令和4年12月1日（木）18時30分～（勤労者福祉センター大会議室）
- ・受賞者 75名、5団体（感謝状1名、特別功労15名、功労13名、精励28名、特別栄光1名、栄光12名・5団体）

ウ 新年合同集会

- ・令和5年1月23日（月）18時00分～（ホテルエピソード） 参加者80名
- ・講師：長谷川誠氏

秋田ノーザンハピネッツ(株)取締役テクニカルディレクター

バスケットボール3×3東京オリンピック女子日本代表アソシエイト

ヘッドコーチ

エ スポーツ教室 25教室実施

オ 総合体育館の指定管理業務受託（ミズノ・松本市スポーツ協会グループ）への職員1名派遣を解消し、新たに外構・駐車場管理を松本地域シルバー人材センターに発注し、3年目となります。

(ア) 指定期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日

(イ) 指定管理料：8,817万円／年（内当協会分：350万円）

カ 広報紙「スポーツまつもと」3月発行

キ 国際大会出場者等激励金交付事業 該当者なし

ク 交際費支出 0件、会議懇談会・祝賀会等0件、手土産1件

ケ 大型プリントサービス売上 13件 69,225円

(2) 共催事業

ア 第20回松本クロスカントリー大会

・主催：松本クロスカントリー大会実行委員会

・期日：令和4年12月4日（日）

・場所：信州スカイパークファミリースポーツゾーン内

・参加数：731名（市内177名、市外493名、県外61名）

(3) 部会事業

ア 武道部会

・第15回松本武道祭 令和4年12月18日（日）

コロナ禍のため、模範演武会のみで開催としました

イ レクリエーション部会

・まつもとレクリエーションまつり 令和4年9月23日（金・祝）【中止】

ウ 地区部会

・地域におけるスポーツの普及・振興と市民スポーツ大会委員会との連携

・生涯スポーツ指導者の活用

・生涯スポーツ振興委員会との連携による、さわやか健康フェスティバルの開催
（開催地区なし）

(4) 委員会事業

ア 総務委員会

(ア) 理事会、評議員会の議案等の審議

イ あり方委員会

(ア) 重要案件の審議（該当案件なし）

ウ 市民スポーツ大会委員会

(ア) 第65回市民スポーツ大会開催可否と開催方法について

(イ) 第39回市長杯争奪球技大会の開催可否と開催方法について

(ウ) 市民スポーツ大会及び市長杯争奪球技大会の実施方法の検討

エ 生涯スポーツ振興委員会

(ア) 生涯スポーツ指導者研修会 特別講座（コロナ禍による対応）

(イ) さわやかウォーキング 11月21日（月）

信州スカイパークポールウォーキング

(ウ) さわやか健康フェスティバル（開催地区なし）

(エ) 松本市スポーツ協会生涯スポーツ指導者連絡協議会事務局

オ パラスポーツ委員会 障害者スポーツの情報収集及び研究

カ スポーツ医科学委員会

・令和5年3月22日（水）19:00 松本市総合体育館大会議室

- ・講師：沖本玲子氏
- ・演目：運動に合わせた栄養補給術 ～質・量・タイミング～
- ・スポーツ少年団「育成部会との合同開催」

キ 施設委員会 体育施設整備等の調査研究、要望（予定）

(5) 受託事業

松本市からの委託を受け、スポーツを通して市民の健康増進と競技力向上をめざし、市民スポーツ大会及び市長杯争奪球技大会を開催しました。

ア 第65回松本市市民スポーツ大会の開催【コロナ禍による中止種目あり】

大会名		期 日	内 容
春季大会		4月10日 ～7月24日	競技種目31種目中、23種目実施 8種目【中止】
夏季大会		8月28日	水泳
秋季大会	総合開会式	10月 9日	総合体育館【中止】各会場で分散開催
	地区対抗競技	10月 9日	軟式野球・卓球・ゲートボール・マレットゴルフ、ソフトバレーボール
	各種競技	9月上旬～	競技種目32種目中、24種目実施 8種目【中止】
冬季大会		12月18日	スケート：やまびこスケートセンター
		2月26日	スキー：野麦峠スキー場

<地区対抗種目 結果>

種 目 (申込名)		申込地区 (チーム)	優勝チーム
卓 球 (156名)		13地区(チーム) 内棄権1	Aブロック 神 林 Bブロック 島 立 Cブロック 寿 Dブロック 鎌 田
軟 式 野 球 (284名)		17地区(チーム) 内棄権7	Aブロック 笹 賀 Bブロック 城 北 Cブロック 鎌 田 Dブロック 波 田
ゲートボール (79名)	男子 (56名)	9地区(チーム) 内棄権1	Aブロック 島 立 Bブロック ー
	女子 (23名)	4地区(チーム)	Aブロック 里山辺 Bブロック ー
ソフト バレーボール (178名)	40歳以上 (90名)	14地区(チーム)	Aブロック 芳 川 Bブロック ー
	39歳以下 (88名)	13地区(チーム) 内棄権1	Aブロック 芳 川 Bブロック ー
マレットゴルフ (164名)	男子 (108名)	27地区(チーム) 内棄権1	松 南
	女子 (60名)	15地区(チーム) 内棄権3	鎌 田

イ 第39回松本市長杯争奪球技大会 令和4年10月30日(日) 6種目

※全体集合しての開会式を各会場での開始式に変更

種目	申込数 (合計：700名)	申込チーム (81チーム)	優勝チーム
軟式野球	78名	5地区	波田
ママさんバレーボール	24名	2地区	寿
卓球	76名	6地区	鎌田
ゲートボール	55名	8地区	中山
マレットゴルフ	84名	21地区	鎌田
ソフトバレーボール	46名	7地区	里山辺

3 会議報告

月	日	会 議 名
4	25	決算監査
5	9	第1回副会長会・第1回総務委員会
	18	第1回理事会
6	15	定時評議員会・第2回理事会
	23	第2回副会長会
	27	第1回市民スポーツ大会委員会
7	5	加盟団体代表者会議【書面会議】
	15	中信4市スポーツ協会・体育協会協議会(通算)第5回幹事会
	15	同 (通算)第3回正副会長会議
	15	同 (通算)第3回情報交換会
	20	第2回市民スポーツ大会委員会
	22	第1回レクリエーション部会
	25	第1回生涯スポーツ振興委員会
8	9	第2回生涯スポーツ振興委員会
9	15	第65回市民スポーツ大会地区対抗競技実行委員会
	21	第1回武道部会
10	9	第3回副会長会
	19	第4回副会長会
	20	第39回市長杯争奪球技大会実行委員会
	20	第2回総務委員会
11	4	第3回市民スポーツ大会委員会
	7	第3回理事会
	17	第1回パラスポーツ委員会
	24	表彰式典実行委員会
	28	第2回武道部会
12	12	中間監査
	19	第4回市民スポーツ大会委員会
1	25	第2回レクリエーション部会
2	9	第3回生涯スポーツ振興委員会
	22	第5回市民スポーツ大会委員会
	27	功労会員の会総会・第1回スポーツ医科学委員会【書面会議】
3	1	第5回副会長会
	8	第3回総務委員会
	10	中信4市スポーツ協会・体育協会協議会(通算)第6回幹事会【書面会議】
	23	第4回理事会

4 スポーツ少年団事業実施状況

「スポーツを通して青少年の健全育成」と「スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献すること」をめざすスポーツ少年団として活動を実施しました。

(1) 組織等（R5年3月31日現在）

ア 登録状況

登録団体				団員数	指導者数	役員 スタッフ
球技	武道	その他	計			
29	12	1	42	1,143名	172名	100名

イ 役員等

委員	常任委員	本部長	副本部長
20名	23名	1名	3名

(2) 事業等実施状況

ア 総務部会

区分	期日	場所	内容等
結団式	4月	各単位団で定めた会場	各単位団での開催
表彰式典	1月～3月	各単位団で定めた会場	集合形式の式典から、各単位団での表彰に切り替え、表彰を実施

イ 育成部会

区分	期日	場所・内容等
指導者・母集団講習会	3月22日(水)	スポーツ栄養学講習会 松本市総合体育館 講師：沖本玲子氏

ウ 事業部会

区分	期日	場所・内容等
第25回 高山市・松本市姉妹都市交流大会	11月20日	松本市街めぐりウォークラリー等 【中止】
合同奉仕活動	11月	国宝松本城・松本城公園 【中止】
総合交歓会	2月	【中止】

エ 交流事業

区分	期日	場所	内容等
中信地区 スポーツ少年団 競技別交流大会	5月14日(土) 15日(日)	安曇野市	軟式野球
	6月5日(日)	安曇野市	硬式野球(小学生)
	8月28日(日)	安曇野市	バレーボール
	11月23日(祝)	松本市	バドミントン 【中止】
	R5年 3月5日(日)	安曇野市	卓球

長野県 スポーツ少年団競技別 交流大会	7月10日(日)	中野市	空手道	【中止】
	7月18日(祝)	佐久市	ミニバスケットボール	
	7月24日(日)	佐久市	少林寺拳法	【中止】
	8月 7日(日)	安曇野市	卓球	【中止】
	8月21日(日)	塩尻市	硬式野球(小学生)	
	9月11日(日)	松本市	バレーボール(男子)	【女子中止】
	9月19日(祝)	飯田市	サッカー	【荒天中止】
	11月 6日(日)	安曇野市	バドミントン	

オ 育成事業

中信地区初級ジュニア・リーダーズスクール	松本市	【中止】
北信越ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会 10月29日(土)～30日(日)	福井少年自然の家	参加1名

5 姉妹都市・文化観光交流都市との交流事業

- (1) 第12回金沢市・松本市スポーツ交流大会
開催日 7月23日(土)～24日(日)
種 目 バドミントン
開催地 松本市
- (2) 第10回松本市・鹿児島市スポーツ交流事業
開催日 8月 9日(火)～12日(金) 【延期】
12月24日(土)～27日(火)
種 目 卓球
開催地 鹿児島市
- (3) 第40回姫路市・松本市姉妹都市親善スポーツ交歓大会
開催日 10月22日(土)・23日(日)
種 目 バレーボール・弓道・テニス
開催地 松本市(総合体育館・弓道場・美須々屋内運動場)
- (4) 第25回 高山市・松本市姉妹都市交流大会
開催日 11月20日(日) 街めぐりウォークラリー 【中止】
開催地 松本市
(再 掲/スポーツ少年団)

令和4年度
一般財団法人松本市スポーツ協会
収支計算書（附属明細書）
（令和4年4月1日から令和5年3月31日）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 会費収入	1,170,000	517,000	653,000
賛助会員会費収入	310,000	337,000	△ 27,000
松本武道祭賛助金収入	500,000	180,000	320,000
功労会員会費収入	360,000	0	360,000
② 事業収入	7,450,000	6,233,354	1,216,646
教室受講料収入	3,500,000	2,536,340	963,660
さわやかウォーキング参加料収入	160,000	0	160,000
生涯スポーツ指導者登録料	40,000	0	40,000
指定管理分担金収入	3,500,000	3,500,000	0
指定管理消耗品収入	250,000	197,014	52,986
③ 受託事業収入	12,400,000	8,531,980	3,868,020
市民スポーツ大会受託事業収入	7,000,000	5,136,661	1,863,339
市民スポーツ大会参加料収入	4,500,000	2,643,550	1,856,450
市長杯争奪球技大会受託事業収入	900,000	751,769	148,231
④ 補助金等収入	21,920,000	21,354,230	565,770
事務局運営補助金収入	16,910,000	16,915,545	△ 5,545
市民スポーツ振興基金補助金収入	4,500,000	3,936,685	563,315
長野県スポーツ振興事業補助金収入	80,000	80,000	0
toto助成金収入	430,000	422,000	8,000
⑤ スポーツ少年団収入	2,020,000	1,280,001	739,999
登録料収入	1,000,000	952,300	47,700
スポーツ少年団補助金収入	910,000	327,701	582,299
会費収入	110,000	0	110,000
⑥ 加盟団体負担金収入	1,040,000	1,040,000	0
競技・武道・レク団体負担金収入	690,000	690,000	0
地区団体負担金収入	350,000	350,000	0
⑦ 預り金収入	3,350,000	3,358,911	△ 8,911
預り金収入	3,350,000	3,358,911	△ 8,911
⑧ 雑収入	60,000	116,690	△ 56,690
大型プリントサービス料	50,000	69,225	△ 19,225
雑収入	10,000	47,465	△ 37,465
事業活動収入計	49,410,000	42,432,166	6,977,834

科 目	予算額	決算額	差 異
2. 事業活動支出			
① 自主事業費支出	10,140,000	7,461,687	2,678,313
表彰費	400,000	279,609	120,391
生涯スポーツ振興事業費	530,000	207,849	322,151
スポーツ医科学事業費	30,000	950	29,050
合同集会費	700,000	425,806	274,194
広報活動費	680,000	664,619	15,381
松本武道祭費	570,000	223,783	346,217
功労会員関係費	250,000	8,429	241,571
レクリエーション祭費	20,000	0	20,000
教室事業費	3,500,000	3,070,957	429,043
委託費	3,430,000	2,579,685	850,315
国際大会等激励事業費	30,000	0	30,000
② 受託事業費支出	12,030,000	8,531,980	3,498,020
市民スポーツ大会・球技大会費	12,030,000	8,531,980	3,498,020
③ 補助金事業費支出	4,500,000	3,702,561	797,439
市民スポーツ振興基金事業費	4,480,000	3,694,066	785,934
手数料	20,000	8,495	11,505
④ スポーツ少年団費支出	2,070,000	1,283,001	786,999
登録料	820,000	783,600	36,400
自主事業費	580,000	199,606	380,394
補助事業費	330,000	119,295	210,705
参加費	170,000	55,800	114,200
負担金支出	20,000	0	20,000
事務局費	150,000	124,700	25,300
⑤ 管理費支出	22,550,000	21,470,716	1,079,284
人件費	17,810,000	17,651,580	158,420
その他管理費	1,390,000	803,739	586,261
預り金支出	3,350,000	3,015,397	334,603
事業活動支出計	51,290,000	42,449,945	8,840,055
事業活動収支差額	△ 1,880,000	△ 17,779	△ 1,862,221
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	0	△ 17,779	17,779
前期繰越収支差額	10,000,000	13,748,496	△ 3,748,496
次期繰越収支差額	8,120,000	13,730,717	△ 5,610,717

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	10,278,399	7,900,796
未 収 金	3,807,467	5,905,008
合 計	14,085,866	13,805,804
未 払 金	72,306	75,087
預 り 金	265,064	343,514
合 計	337,370	418,601
次期繰越収支差額	13,748,496	13,730,717